



親父と息子。 「建設業」



を繋いでいく想い。



時間とともに
変化する想い。
背負っているもの、
見つめる未来。
親子2代が
それぞれのドボクを
語った。

新年号(1月号)

下田土木事務所



みらいズ

〒415-0016 静岡県下田市中531番地の1
E-mail : shimodo-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

TEL : 0558-24-2113
FAX : 0558-24-2123

1つのことにこだわれば
こだわるほど、それだけ
仕事は増えていく。
でも、「今の図面通りに
作ったら、お婆さんが躓
いて転んでしまう。」
最初はあまり興味が持て
なかったドボクだけど、
ともに汗を流す職人さん
の心意気に魅せられた。
そんなかっこいいドボク
を、これからは俺が先頭
に立って未来に伝えていく。

かっこいいドボクの職人魂

磨穿
鉄硯

外岡 秀介
株式会社外岡組
取締役
趣味 卓球



大膽
小心

田中 豊
丸三工業株式会社
代表取締役社長
下田商工会議所会頭



地域をつくるインフラ整備

公共事業がバッシング
を受けた時代があった。
悪者扱いもされたが、
それでも地域のことを
常に想って働いてきた。
「伊豆半島は、観光。
人々の遊び心で成り立っ
ている場所。」
これまでもそうであつた
ように、ドボクが活気
ある地域づくりを支えて
いくべきだ。

もろくろの「夢」ロマン」

昔の人は、土木や都市への
ロマンを持っていた。
だから、自然の中で多く
の人のロマンが詰まった
ものができあがることは、
何よりの喜びだった。
「自分なりの個性を出せる
から、ドボクは面白い。」
ものづくりが、大好きだ。
もう一度、夢とロマンが
あふれる世界を見てみたい。

風流
韻事

河津 市元
河津建設株式会社
代表取締役社長
日本防災士



土木 × 流儀

冬夏
青青

外岡 兼一
株式会社外岡組
代表取締役
所属 ゼネコン



自分が生まれ育った伊豆には
数えきれないほどの魅力が
ある。経済を動かす土木業界
が力を合わせれば、もっと
素敵な故郷にできるはず。
まだドボクの魅力は見出せ
ないけど、故郷の未来のため。
「ここで育った子どもたちが
戻って来たいまちを目指す。」

子どもたちのみらいのために

剛毅
果断

河津 元
河津建設株式会社
工事本部 課長
技術士（建設部門）



「オンリーワンで、
ナンバーワンの感動が
ドボクの魅力。」
アイデア次第で道を
切り開くこともできる。
未来の自然災害だって、
ここにしかない方法で
きっと乗り越えることが
できる。

現場だから「そ気づく」と

最後までこだわりぬくプライド

「見えなくなる部分こそ
丁寧にやれ、と私も言わ
れて育ったし、今も周り
に言ってるんですよ。」
小さい頃から、周りには
ドボクのプロとしての
プライドが溢れていた。
最後まで細かい部分に
こだわって作ったから
こそ、地域に喜ばれる
仕事ができたと信じて
いる。

摩頂
放踵

田中 雄士
丸三工業株式会社
総務部・営業部
元システムエンジニア



知っていますか？
ドボクの名作

【映画「海峡」】

1982年公開 監督：森谷 司郎
原作：「海峡」(岩川 隆 著)、主演：高倉 健

「1954年 青函連絡船洞爺丸事故」で多くの死を目の当たりにし青函トンネル建設を決意した国鉄技師の阿久津剛(高倉健)は、仲間の死や度重なる出水に何度も打ちひしがれる。それでも、周囲の人に支えられながらトンネル建設に情熱を傾けた阿久津。トンネルに風が抜けたその時、彼は何を想ったのか。土木に懸けた漢の名作をぜひご覧下さい。



阿久津 剛